

アメリカ新学期開始 —学校に行こう!—



子どもたちは、私たちの想像を超える環境で育ちます。自分の親を含め、周りには良い手本となる大人たちはとても少ないのです。だからこそメトロとの関わりはとても重要で、子どもたちがきちんと学校に通って、学校を卒業し、普通の仕事に就くことができるように指導します。

親たちは、新年度の準備のためのお金を計画的に貯めるという発想もなかったり、ネグレクトや虐待で子どもを学校に行かせることの意味がわからなかったりするケースもあります。また、さまざまな依存症のために正常な判断ができず、子どものことを考えられないこともあります。そのような人々に囲まれていると、それが普通の世界に思えるのです。

貧しい地域から、ボロボロの学用品を持って学校に行けば、とても惨めな気分になりますし、自分の価値まで低くなった気持ちにもなり、勉強の意欲も失われます。

メトロのスポンサーから贈られる、学用品の詰まった新品の通学用リュックは、子どもたちの学

ぶ意欲に火をつける良い方法です。

子どもたちを励まし、学びを続けて、周りの人々とは違う人生を歩める可能性を開いてあげてください。皆様にご支援いただける範囲のご支援でかまいませんので、ご検討をお願いいたします。

1口6,200円でどなたでも何口でもご支援いただけます。

アメリカの子どものスポンサーの方の場合は、1口目はご支援いただいている子どもに贈ります。

詳細は同封の用紙をご覧ください。

締め切りは7月5日(土)

8月下旬からは、アメリカの学校の新年度が始まります。様々な背景を持つ過酷な環境下で育つ子どもたちが、新年度に学校に復帰できるかどうかは重要なことです。

メトロの子どもたちが住んでいる地域には、子どもたちを悪い道に引きずり込もうとするたくさんの誘惑が溢れています。特にニューヨークでは、夏休みの間、時間を持て余した子どもたちにとって、悪い人々からの誘いは、学校に行くより安易で、楽しく、簡単にお金を稼ぐ魅力的な方法に思えます。

そんな子どもたちが、期待を持って新年度にきちんと学校に復帰できるようにご支援をお願いします。

常時スポンサー募集中!

お申込はこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>



今月の引き落とし日!

6月27日(金)です。前日に残高をご確認ください!

今月号の目次

P2~3...ビル師からのメッセージ&

お祈りのお願い

P4...日本事務所から大切なお知らせ

その物語は、まだ終わっていません。

—ビル・ウィルソン師 Facebook より

ここでは詳細はお伝えできませんが、写真でおわかりいただけるかもしれません。

4週間前、アメリカとメキシコの国境にある古びたレストランで、3人の聖職者と、2人の麻薬組織員、そして激怒した年老いた教会学校の教師が、あまり愉快とは言えない議論をしていました。議論が終わって、3人が逮捕されました。(当然、逮捕される必要があったのです。) 1人は国外追放、1人は遺体袋に入れられて運び出されました。そして私は警備員に空港まで護送されました。

それが4週間前のことでした……

アフリカのザンビアの真ん中で、聖書学校に通ったこともない若い教会学校の先生が、2023年9月に、何もなかったところからメトロの教会学校を立ち上げました。そして2週間前の教会学校には40万896人の生徒が参加したのです。彼には、教会学校を作り成長させるために、博士号は必要なかったようです。彼の名前はギフト(Gift)。まさに、その名の通りです！

それが2週間前のことでした……

2日前、ガザ地区の南北高速道路の交差点で、生死を分ける決断が迫られました。この話をするには、15年前に遡らなければなりません。

15年前、イスラエルのテルアビブにあるマクドナルドで、私が2人の新しい教会学校の教師(ユダヤ人とアラブ人)を指導しているのを、8歳のパレスチナ人の少年が横で聞いていました。2人ともちょうど1年前にクリスチャンになり、「この子だれの子」という私の本を読み終えたばかりでした。その日、彼らは決めました。「僕たちが、このメトロの教会学校をガザ地区でやろう。」

その時横にいた、小さなパレスチナ人の少年。ハンという名前でした。彼はただ静かにハンバーガーを食べながら、見ていました。しかし、彼の心の奥底から、こう叫ぶのが聞こえました。「僕もこんな人になりたい。クリスチャンになりたい。子どもたちにイエス様について教えたい。」

時は流れ、2023年10月、戦争が勃発しました。19歳になったあの少年は、メトロの教会学



校の先生が、教会学校が終わってわずか数時間後、ハマスに虐殺されるのを目の当たりにしました。

その夜、ハンとメトロの教会学校の先生を引き受けたのです。「今度は私の番だ」と彼は言いました。

その後、戦争と、教会学校の食料を狙う人々によって、彼は妹を失い、母を失いました。もうひとりの妹のほかには、彼には何も残されていません。

ガザでの教会学校を続けることが不可能になった時、私は彼にこう言いました。「きみにはヨルダン川西岸地区に移動してもらいます。一緒に最後の教会学校をやり遂げよう。」その最後の礼拝は、2024年4月20日の復活祭の日曜日に行われました。900人の子どもたちと家族が、爆撃で破壊された通りの真ん中に集まり、死んで復活したイエス様の物語を聞きました。

教会学校が始まったまさにその時、パレスチナ人の母親が、30分前に餓死したばかりの息子を抱きしめ、叫びながら群衆の中を駆け抜けてきました。彼女は、「クリスチャンなら助けてくれるって聞いたわ!」と叫びました。ハンと周りを見回し、「みんな、この子に向かって手を伸ばして! 祈るんだ」と叫びました。

AK-47とロケット弾の音が響き渡る中、ハンと私は手をとり、大声で祈りを捧げました。

その時、死んだ少年が咳払いをして生き返り、群衆は息を呑みました! そして、800人もの人々がイエス・キリストを受け入れるために前に進み出しました。まさに奇跡です! ガザで。白昼堂々。しかし、それはほんの始まりにすぎなかったのです。

その後何が起こったのかの重要な背景をお伝えするために、再度、この出来事をご説明しました!

2日前、ガザ地区の交差点で、激怒し、戦争により強くされたハンと、ガザ地区の教会学校の最初のグループの子どもたちのひとりが、2人のハマス戦闘員がイスラエルからトレーラートラック1台分の食料を盗むのを目撃したのです。その食料は、メトロ教会学校の子どもの多くが今も暮らすジャバリア難民キャンプに送られるはずでした。

キャンプには、私たちの子どものたちであり、ハンの子どものたち、そしてハンと同じように、自分たちが作ったのではない悲惨な世界で、成長している子どもたちが待っています。彼は、誰かが変化を起こさなければならないことを知っていました。誰かが決断を下さなければならないと。

ガザやウクライナは現在、戦場となっており、平和で社会が

ここに書かれているガザ地区での活動の詳細は、2023年11月から翌年5月までのメトロレポートに掲載されています。右のQRコードから、ご覧ください。 <https://qr.paps.jp/qSgpl>





秩序正しく機能している日本のような刑法もうまく機能しておらず、戦場には戦場のルールという暗黙の掟があります…再び彼の番が来ました。彼が決断を下したのです。

彼と友人は道路を横切ってトラックまで走り、2人のハマス戦闘員を不意打ちし、トラックのドアを開け、ハンは運転手のライフルを掴んで格闘になりました。銃声が鳴り響き、弾丸がハンの左肩を貫通しました。

それでも彼は格闘を続け、2発目の弾丸がハマスの戦闘員を射殺したのです。ハンの友人はもう一人の戦闘員をトラックの反対側から突き落とし、地面に押し倒してナイフを奪い、その場でとどめを刺したのです。

ハンと友人はトラックに飛び乗り、イエスの名において、教会学校の子どもたちのためにフードトラックを走らせ始めました。この記事を書いている時点で私が知っているのは、ハンと友人が食料を降ろし、難民キャンプの端で1,000人近くに食料を配り、その場で教会学校を行ったということまでです。それ以来、彼から連絡はありません。

それは2日前のことです。

これら全てのことについて、あなたがどう考え、どう行動しようと構いません！それはあなたの自由です。最近は、なるべく投稿しなくなりました。理由があります。きっと皆さんもお分かりでしょう。でも、このすべてのことは、とても大切だと感じています。

1960年の夏、ある平凡なクリスチャンの男性が、ひとりの少年を拾い上げ、教会学校のキャンプに送りました。その男の子は、教会学校の先生になることを決意しました。彼はとても病弱で、うまく話すこともできませんでした。それでも、彼は精一杯努力しました。私とその少年でした。皆さんの多くはその話をご存知でしょう。しかし、この物語はまだ終わっていません。

ニューヨークの汚れた歩道に座って、ひどい虐待を受けた小さな女の子が、イエス様の物語と、イエス様がどれほど彼女を愛しているかを聞いているからです…。

アフリカやガザでは、まだ飢えに苦しむ小さな男の子たち

がいます…。彼らの物語もまだ終わっていません。

先月あなたがどこにいたとしても、今日あなたがどこにいても、あなたはまさに私たちがいる、その同じ場所にいてくださいます。あなたは、この続いている物語の一部なのです。

これを読んでくださっている皆さんは、世界中で祈り、信じ、メトロのことを心に留め、立ち上がり、共に歩み続けていてくださることを私たちは知っています。私たちが皆さんと共にいることを知っていたければ幸いです。

そうです。世界中のメトロの教会学校の教師たちは、皆さんや皆さんの教会、皆さんの家族、そして何よりもイエス・キリストの代表として働いているのです。今週も、152万人以上の子どもたちがどこかに座って、自分たちのために命を捧げてくださった王の

王である方の物語を聞く機会が与えられます。

今週、何が起こるか分かりません。物語はまだ終わっていないからです。すべては、世界のどこかで、たったひとりの人から始まるのです！

ありがとうございます！

ビル・ウィルソン

*メトロの教会学校の働きは、驚異的なスピードで成長しています。これは、公立の学校の中での開催が進んでいるからです。しかしその流れは、アフリカや発展途上国に留まらず、アメリカのニューヨークでも、メトロの教会学校が、学校の校内で開催されるケースが出てきています。

そして、ガザ地区の働きに代表される、公に発表されていない、危険な場所、宗教的な規制の多い国でも働きも拡大しています。

そのため、常に危険を伴う働きを担っているスタッフたちがおり、彼らの働きを守るためにもビル師は全責任を負っています。今月も危険な地域に調査に出かけることになっていますので、どうぞお祈りをお願いいたします。



メトロ紹介ページ



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

偽物に騙されないように！

ビル師の偽のSNSがたくさん発生しています。最近では、偽のHPや見分けのつかないフェイク動画などもありますので、騙されて送金されないように、くれぐれもご注意ください。

ビル先生の Facebook は以下の一つだけです。
<https://www.facebook.com/PastorBillWilson>

ビル先生が、直接献金を依頼することはありません。個人的に連絡することや友達申請することはありません。ビル師からのメッセージを直接受け取った場合は、サイト責任者に報告し、ブロックしてください。

メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

現在開催中のキャンペーン！

現在行っているキャンペーンは、アメリカのブックバッグです。食料品その他のご支援は常時受け付けています。

・アメリカのブックバッグ：7月5日(土)締切

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。子どもの数は非常に多いので、早めにお申し込みいただければ助かります。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできます。

お引落日は、お申し込み日の翌月です。

<https://metroworldchild.jp/gift/>



！ スポンサー募集中！

メトロの働きは各国で急激に拡大し、サポートの必要な子どもの数は、飛躍的に増えています。新規スポンサーを常時募集していますので、よろしくお願いたします。

政治不安や戦争で、貧困地域の状況は悪化し続けており、世界中の物価は急激に上昇しています。メトロの活動している地域では、以前から食事をまともに食べることができない子どもがたくさんいましたが、今はさらに深刻な状況です。私たちは、一人でも多くの子どもにスポンサーを見つけようと手を尽くしています。どうぞ、身近な方々にメトロをご紹介ください。

メトロ紹介&申込サイト⇒

<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所よりごあいさつ！

このレポートがお手元に届く頃には、もう梅雨入りしていることでしょう。きれいなあじさいを見ながら、神からの「恵みの雨」「祝福の雨」を感謝したいものです。

皆様のご支援とお祈りに支えられ、メトロの働きは、文字通り、急拡大しています。世界中が混迷と混乱の中にあり、次世代の教育と将来に不安を感じながらも、具体的手立てを講じることのできない国や地域が増えているからです。貧困や、命の危険にさらされる地域に生まれたことは、子どもたちの責任ではありません。しかし、その中で常に一番の被害者となるのは、子どもたちです。

私たちと共に、暗闇に光をともし働きを担ってくださり、感謝いたします。これは、神のわざが現れるためであると聖書に書かれている通りの働きと言えます。

皆様の上にも、主キリストの格別な恵みと祝福勝利が現されますようにお祈りします。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン